



2025 Super FJ Japan League Rd.4



Super FJ 筑波・富士シリーズ 第5戦

TSUKUBA CHALLENGE CLUBMAN RACE

2025年7月27日 筑波サーキット 天候:晴れ 参加10台



スーパーFJ ジャパンリーグ第4戦は 7月27日に筑波サーキットで筑波チャレンジクラブマンレース第3戦で開催された。

シリーズを振り返ってみると、ジャパンリーグは3月30日に岡山で開幕し#22酒井選手(ファーストガレージ制動屋)が優勝すると、続く SUGO での第2戦、オートポリスでの第3戦まで3連勝で2番手と13点差と大きくリードしている。しかしジャパンリーグは全8戦、まだまだ先は長い。

一方、筑波・富士シリーズは3月23日に筑波で開幕し、#22酒井翔太選手が優勝。筑波で開催の第2戦では#52津田光輝選手(ファーストガレージ制動屋 S2)がキャリア初優勝をポール・トゥ・ウインで飾ると、続いて筑波での第3戦も連勝。舞台を富士に移しての第4戦では鈴鹿・岡山シリーズを主戦場とする#56箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)が勝利した。現在シリーズランキングでは70点の津田選手を42点の酒井選手が追う展開。

公式予選

筑波サーキットのある茨城県は梅雨明け以降いきなり猛暑となっており、予選が始まる午前8時20分で早くも気温31.8度。路面温度40.5度のドライコンディションの中、10台のスーパーFJ がコースイン。20分間の予選が開始された。

各車ウォームアップを終えて計測1周目から早くも津田選手が59秒117を出してトップ。2番手酒井選手の59秒489、3番手#51切替悠喜選手(ファーストガレージ RSDS2の59秒519。予選前に聞いたところではここから路面温度が急激に上がりそうなので、各車早めにタイムを出しに行くだろうとのことだったが、その通り、続く周回で津田選手が59秒を切り58秒894をマークする。

残り時間16分、酒井選手58秒685でトップ、津田選手も自己ベストを58秒849まで削るが2番手にダウン。切替選手59秒175と時期おベストを更新するも3番手変わらずで、4番手にはマスターズクラスの#3秋山健也選手(スーパーウィンズ KKS2)が59秒587でクラストップ、5番手#2内藤大輝選手(RCIT RaiseUP ED)、6番手マスターズクラスの#38畠山退三選手(Hobby base&zap)と続いている。

酒井選手と津田選手は周回を重ねるごとにベストタイムを更新、津田選手が残り15分に58秒680を出すと残り13分に酒井選手が58秒591で再逆転とトップが入れ替わる。酒井選手はタイムアタックとクールダウンを交互に入れる戦法で、タイヤをいたわっているようだ。3番手切替選手は59秒036と58秒台が見えてきている。それに続いて#15相田有羽音選手(ZAP SPEED 10VED)が59秒379で4番手に進出するが、秋山選手が59秒316でひっくり返す。セカンドロウを争う戦いも熾烈だ。

予選も後半戦に入り残り時間9分。酒井選手が58秒513までトップタイムを短縮。津田選手58秒660と0秒147の差。切替選手も58秒台に入れて58秒940。4番手秋山選手、5番手内藤選手、6番相田選手と続く。このあたりで各車タイヤのおいしいところが終わったかラップタイムは頭打ちになる中で自己ベストを更新したのが#8MAKOTO MIZUTANI 選手(HC 桶川 MRPYTTZAPED)の59秒761で7番手に上昇する。さらに畠山選手が59秒624を出して9番手から7番手へ。

その後ポジションを入れ替える選手はなく予選は終了。ポールポジションは酒井選手、2番手津田選手、3番手切替選手、4番手秋山選手、5番手内藤選手、6番手相田選手というトップ6となったが、秋山選手は走路外走行でベストタイムが抹消され、さらに2グリッド降格の裁定が下り、スターティンググリッドは7番手へ。これによって内藤選手4番手、相田選手5番手となり、畠山選手がマスターズクラスのトップで6番手から決勝を迎えることとなった。

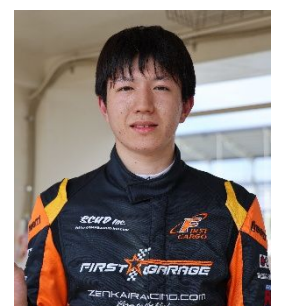
ポールポジション：#22酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「練習の時に比べて思っていたタイムが出なくて。練習からセットの変更もして、もうちょっといい方向に行くかなと思っていたのが、自分が思っていた方向に行かなかったの。それでもこの暑い中なんとかまとめられたのかな、とは思っています。序盤の3、4周でタイムを決めようと思っていたのですが、思ったより引きずってしまって、練習の時も4周目がベストとかだったので、序盤にタイヤのいいところを持っていきかけたのですが、そこはうまくできなかったのが反省ですね。(途中ピットインしていたが?)タイヤの圧があがってしまったのと、ちょっとセットが合っていない感じでその修正をしました」



予選2番手：#52津田充輝選手(ファーストガレージ制動屋 S2)

「かなり気温も高くなってきて、途中からはタイムが出ないかと予想はしていました。自分があまり得意ではないコンディションではありますが、やれることはやったかなと思います。決勝は 前回の富士の時も自分がスタートを失敗して前に行かれてしまったということがあるので、今回はちゃんと(スタートを)決めて酒井選手の前に出て、というレース運びにしたいです」



予選3番手: #51切替悠喜選手(ファーストガレージ RSDS2)

「前日からシフトのトラブルがあったのが直り切っていないくて、その状態で昨日はみんなと同じようなタイムで走っていたのですが。予選になって、ポールポジションへの欲が出てしまって、セクター1で(シフト)ロックしてタイムロスした分を他の箇所でも巻き返そうとして、それで全体的に、行き過ぎというか、それでタイヤも削ってしまいました。反省が多い予選でした」



マスタークラストップ: #38畠山退三選手(Hobby base&zap)

「秋山さんが後ろですか？ それはヤバいな(笑)。調子がいまひとつなので、何とか抑えるようにがんばります。暑すぎますね、おじさんには堪えますよ」



決勝レース

短いインターバルの後、18周もしくは30分間の決勝は午前10時55分からコースイン開始。気温はさらに上昇して33.9度、路面温度51.7度という熱さで、グリッド上ではドライバーを少しでも日差しから守ろうと傘をさしかけ、ヘルメットの隙間からハンディファンで風を送り込むクルーの姿が見られる。11時2分フォーメーションラップ開始。全車グリッドに戻りレーススタート。

ポールポジションの酒井選手の蹴り出しがよくホールショットを奪うと、フロントロウの津田選手がそれに続く。3番グリッドの切替選手に対して4番グリッドの内藤選手が迫り、第1コーナーでアウトから狙う素振りを見せるがポジションキープ。3列目の相田選手、畠山選手とグリッド順に続き、後方では9番手スタートの#39池田悠亮選手(TOPRANK スーパーウィンズ)の加速がよく、前からスタートのMIZUTANI 選手にアウトから並びかけて第1コーナーへ。サイド・バイ・サイドで旋回するが S 字入り口で MIZUTANI 選手が8番手を守る。さらにバックストレートでは4番手内藤選手に5番手相田選手がテール・ツー・ノーズとなるが、ここも内藤選手が順位を守る。

オープニングラップを終えてトップ酒井選手と2番手津田選手は0秒859の差。3番手切替選手は津田選手と0秒573の差でコントロールラインを通過。0秒120差とテール・ツー・ノーズ状態で2周目に入った内藤選手対相田選手のバトルは相田選手がダンロップコーナー出口でオーバーテイクに成功、4番手に浮上する。さらに畠山選手も3周目に内藤選手を仕留めて5番手へ上がりマスターズクラスのトップをキープ、クラス2番手の秋山選手は7番手だ。

3周目を終えて酒井選手は津田選手に1秒287差と僅かずつだが間合いを拡げていく。3位切替選手はそこから1秒488差と2台のペースについて行けないようだ。この周8番手を走行のMIZUTANI 選手がダンロップコーナー出口でコースオフ、池田選手と#72小笠原優人選手(ELEV レーシング S2制動屋)がそれぞれ8番手、9番手へ順位を上げる。MIZUTANI 選手はコースに戻るものの最下位にダウン。



酒井選手は6周目に59秒204、8周目に59秒169とファステストラップを更新し続け津田選手との差を1秒739まで拡げる。3番手切替選手、4番手相田選手は3～4秒のギャップで膠着状態。その中で緊張感があるのが5番手畠山選手と6番手内藤選手の間で、3周目に畠山選手が前に出て以降内藤選手が逆転のチャンスを狙って追走しており、6周目は0秒190の差まで接近。その後も0.3～0.4秒程度の差で内藤選手がプレッシャーをかけ続けている。



レースは10周目に入り後半戦へ。順位の変動はないものの、畠山選手を先頭にした5番手争いは内藤選手に続いて秋山選手も自己ベストのラップタイムで接近。内藤選手をマスターズクラスの2台が挟んだ格好で0秒456の中でワンパックになっている。この中でペースがいいのが秋山選手で、13周目の第1コーナーで内藤選手のインから秋山選手が仕掛けに行くが、コーナーのエイパックスで秋山選手のノーズと内藤選手の右リヤタイヤが接触、

内藤選手が姿勢を乱してスピン。再スタートを切ったものの最下位まで順位を落としてしまう。秋山選手もポジションを落とし、池田選手が6番手に順位を上げる。

トップ酒井選手と2番手津田選手12周目、13周目と1秒6から1秒7の間合いを保ったまま走行。津田選手は59秒2から3の間で安定したラップタイムで追走を続けているが、酒井選手も同様のペースで走り続けている。3番手以下は切替選手、相田選手、畠山選手と続き、13周目の接触で池田選手の先行を許した秋山選手が再びペースを上げて14周目に0.170秒差まで接近、16周目のコントロールラインではサイド・バイ・サイドとなって同タイムで通過すると第1コーナーまでにオーバーテイクを完了。6番手に順位を戻す。

酒井選手はここにきて僅かにペースを緩めたか、津田選手が1秒494とギャップを削り取る。17周目も1秒463の差でファイナルラップへ入ると、津田選手は59秒164と酒井選手のラップタイムを上回る本日のファステストラップを出す。時すでに遅し、酒井選手が1秒412の差でチェカードフラッグを受けて優勝を決めた。2位津田選手に続いて3位切替選手は7秒以上の差、以下4位相田選手で5位畠山選手はマスターズクラスのトップとなった。6番手フィニッシュの秋山選手だったが、13周目の内藤選手との接触でフィニッシュタイムに40秒加算というペナルティが課されて10位というリザルトとなりマスタークラス2位は変わらず、これで7番手フィニッシュの池田選手が6位に繰り上がった。

次回のジャパンリーグは、後半戦に入り8月30/31日に第5戦/第6戦がモビリティリゾートもてぎで開催される。酒井選手が4連勝で24点を獲得し、5点で2位グループの杉田悠真選手、吉田馨選手、永原蒼翔選手、津田充輝選手らに19点の大差をつけて、次戦もてぎでの結果次第ではチャンピオン確定の目がある。



優勝：#22酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「スタートは文句なしで、そのあと最初から飛ばすつもりだったのですが、路面温度が高くなってしまって。タイヤが後半きつくなるだろうなと思って、あまり飛ばさないでもいい具合で走っていたので、そこは良かったです」

2位：#52津田充輝選手(ファーストガレージ制動屋 S2)

「出だしがあまりよくなかったのが、自分としては反省だと思っています。でもこういう季節で去年だったらそのままペースが下がりまくりだったと思うのですが、走っている間にコツを掴んだ感じです。次も暑いレースになると思うので、その時に今日の修正点を活かして、もう一度チャレンジしたら行けるかな、って気がします」

3位：#51切替悠喜選手(ファーストガレージ RSDS2)

「レースだけに限らず、練習の段階からロガーとか見ている気になっていただけでした。もっと突き詰めるところがあったので、そこが甘かったと思います。今回も週末通じてずっとシフトに悩んでいたのですが、それも解決しないままレースになってしまいました。そこは次までに直したいと思います」



ジェントルマンクラス1位：#38畠山退三選手(Hobby base&zap)

「運が良かったです。でもぜんぜん駄目ですね。ベストは出せていないので、次がんばります。セッティングがぜんぜん合わなくて、残念です」

2025 TSUKUKBA CHALLENGE CLUBMAN RACE

ROUND-3 2025-7-26・27



VICIC

主催：VICIC（日本自動車連盟（JAF））
コース：筑波サーキット（2,045m）

2025筑波スーパ- FJシリーズ / 筑波スーパ- FJマスター第4戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ

正式予選結果表

2025 / 7 / 27 :

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	22			酒井 翔太	ファーストガレージ制動屋	KK-S II	58.513	9 / 16		125.818
2	52			津田 充輝	ファーストガレージ制動屋S2	KK-S II	58.660	9 / 20	0.147	125.503
3	51			切替 悠喜	ファーストガレージRSDS2	KK-S II	58.940	9 / 19	0.427	124.907
4	2			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED	KK-S II	59.238	8 / 19	0.725	124.278
*1 5	3	MASTERS 1		秋山 健也	スーパ-ウインズ KKS2	KK-S II	59.316	5 / 20	0.803	124.115
6	15			相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	59.378	16 / 20	0.865	123.985
7	38	MASTERS 2		畠山 退三	Hobby base&zap	KK-S II	59.624	16 / 20	1.111	123.474
8	8			MAKOTO MIZUTANI	HC桶川MRPYTTZAPED	RD10V	59.722	16 / 20	1.209	123.271
9	39			池田 悠亮	TOPRANKスーパ-ウインズ	KK-S II	59.758	9 / 20	1.245	123.197
10	72			小笠原 優人	ELEVレーシングS2制動屋	KK-S II	1'00.288	12 / 18	1.775	122.114

***** 以上予選通過 ((1'16.315 - 130%)) *****

2025筑波スーパ- FJシリーズ / 筑波スーパ- FJマスター第4戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ

正式決勝結果表

2025 / 7 / 27 :

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	Lap	Ave. Km/h
1	22			酒井 翔太	ファーストガレージ制動屋	KK-S II	18	17'51.378		59.169	8 / 18	123.687
2	52			津田 充輝	ファーストガレージ制動屋S2	KK-S II	18	17'52.790	1.412	59.164	18 / 18	123.525
3	51			切替 悠喜	ファーストガレージRSDS2	KK-S II	18	18'00.122	8.744	59.540	13 / 18	122.686
4	15			相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	18	18'08.024	16.646	59.879	12 / 18	121.795
5	38	MASTERS 1		畠山 退三	Hobby base&zap	KK-S II	18	18'14.319	22.941	1'00.105	9 / 18	121.094
6	39			池田 悠亮	TOPRANKスーパ-ウインズ	KK-S II	18	18'21.082	29.704	1'00.176	10 / 18	120.351
7	8			MAKOTO MIZUTANI	HC桶川MRPYTTZAPED	RD10V	18	18'25.201	33.823	1'00.248	12 / 18	119.902
8	72			小笠原 優人	ELEVレーシングS2制動屋	KK-S II	18	18'25.853	34.475	1'00.514	16 / 18	119.831
9	2			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED	KK-S II	18	18'28.198	36.820	59.743	17 / 18	119.578
*1 10	3	MASTERS 2		秋山 健也	スーパ-ウインズ KKS2	KK-S II	18	18'58.776	1'07.398	59.852	18 / 18	116.367

***** 以上完走 (16Laps) *****

